北海道こども発達研究センター 自己評価集計結果

公表: 令和3年8月30日

事業所名:北海道こども発達研究センター

回収率:100%

	チェック項目	はい	いいえ	どちらともいえない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改 善内容又は改善目標
1	利用定員は活動スペースとの関係におい て適切ですか	15				
2	職員の配置数は適切ですか	11		4	・他事業所と比較すると人数配置は 手厚いと思う	・今年度より、土曜日のリハビリの 時間を設定し、より安全に配慮した 職員配置ができるように工夫して いる
3	事業所の設備について、バリアフリー化の 配慮は適切ですか	14		1	・玄関の手すり増設などさらなる対応を行った	
4	業務改善を進めるための目標設定と振り 返り(PDCA サイクル)に広く職員が参 画していますか	11		4	業務内容に変更があればマニュア ルも修正されている	・修正されたマニュアルを職員間で 徹底し、問題があれば周知し、改善 していく。
6	保護者等向け評価表を活用することにより、アンケート調査を実施して保護者等の 意向等を把握し、業務改善につなげていま すか	12		3	前回は手すりを設置したアクリル板を設置した。LINE の活用を充実させている	
6	この自己評価の結果を、ホームページなどで公開していますか	13	1	1	自己評価を職員内で確認し、ホームページで公開している。	
7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげていますか	8	1	6		・外部評価についてのシステムはあるが、内容についてはより整理して 運用していく必要がある。

					↑/- ÷0001-1/c7T/5 ↑ +%88/4 ->-	
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保していますか	15			・全体・部門共に研修会が開催されている・所内で研修を実施、所内セラピスト向けに勉強会の案内がある	
9	評価を適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、支援計画を作成していますか	15			・1日の振り返り・支援会議などが 定期的に行われている	
10	こどもの適応行動の状況を図るために標 準化された評価表を使用していますか	12		3	・発達チャート・遠城寺式発達検査 表等を活用している	
11)	活動プログラムの立案をチームで行って いますか	10	1	4	・1日の振り返り・支援会議・部門 会議などが定期的に行われている	
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫していますか	11	1	3	・工夫として「固定が必要なケース もあるため、適時複数人で検討して いる」	
13)	平日・祝日・長期休暇に応じて課題をきめ 細やかに設定して支援していますか	10	1	4	・長期の休みが明けて落ち着かない 子に対して、様子に応じて対応して いる。	
14)	こどもの状況に応じて個別訓練と集団活動を適宜組み合わせて支援計画を作成していますか	14		1	・1日の振り返り・支援会議などが 定期的に行われている・対人コミュニケーションでの課題 がある場合は、活動場面を引用して いる	
15)	支援開始前には職員間で打ち合わせをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認していますか	12	1	2	・職員間の打ち合わせのシステム化 を行い、よりきめ細やかな対応がで きるように工夫している。	
16	支援終了後には、職員間で打ち合わせを行い、その日行われた支援を振り返り気づいた点などを共有していますか	15			・1日の振り返りの実施をし、情報 共有を行っている	

17)	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげていますか	15				
18)	定期的にモニタリングを行い、支援計画の 見直しの必要性について判断をしていま すか	14		1	・半年に1度を目安に、面談・モニタリング・スタッフ会議を行い、支援計画を見直している。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組 み合わせて支援を行っていますか	11		4		ガイドラインに沿って支援を行っているが、職員内で再度確認し理解を深めていく。
20	サービス担当者会議にそのこどもの状況 に精通した職員が参画していますか	13		2	・個別に担当を設けて現状把握に努めている	
21)	学校との情報共有を適切におこなってい ますか	12		3	・送迎時や電話・書面で随時行っている	
22	就学前に利用していた各機関との間で情報共有と相互理解に努めていますか	13		2	・相談室や幼稚園、保育園と情報共 有を行っている。	
23	学校卒業後、支援内容等の情報を関係機関 に提供していますか	10		5	・適宜関係機関に情報を提供している。	
24)	児童発達支援センターなどの専門機関と 連携し、助言や研修を受けていますか	10		5	・専門機関と連携して情報を共有している。	
25)	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流 や、障がいのない子どもと活動する機会が ありますか	9	5	1	・利用児が通うこども園などとの併用を可とし定期的に情報共有を行っている	
26	自立支援協議会や地域の子ども・子育て会 議等へ積極的に参加していますか	9	2	4	・積極的に参加している。	
27)	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っていますか	14		1	・連絡ノート、LINEでの情報共有、 半年に一度面談を行っている・ご家庭で行う支援についてのアド バイスを行うこともある	

	保護者の対応力の向上を図る観点から、保				・必要に応じて支援を行っている。	・web を使用して支援を行ってい
	護者に対して家族支援プログラム(ペアレ				場合によっては送迎に合わせてご	
(28)	ント・トレーニング等)の支援を行ってい	8		7	自宅で相談支援を行っている。	て更なる支援が必要となる。
20	プログログ ニング等がの交換を同りてい	J		'	・個別訓練を見学してもらう場合も	へとなる人気は色女である。
	6973				ある。	
	 運営規程、利用者負担等について丁寧な説				・契約時に説明を行い、理解いただ	
29	明を行っていますか	14		1	いたうえで支援を行っている。	
	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に				・ご家族からの相談について、連絡	
30	対する相談に適切に応じ、必要な助言と支	13		2	ノート・LINE・家庭訪問などで都	
	援を行っていますか				度対応を行っている。	
	父母の会の活動を支援したり、保護者会等				・コロナ対策の為、勉強会をお休み	
(31)	を開催する等により、保護者同士の連携を	4	6	5	している。	
01)	支援していますか	_			・web を使用した学習機会の提供	
					などを行っている	
	子どもや保護者からの相談や申入れにつ				・コロナ対策の為、土曜日の食事提	
	いて、対応の体制を整備するとともに、子				供の中止、アクリル板の導入などの	
32	どもや保護者に周知し、相談や申入れがあ	14		1	対応を行っている。	
	った場合に迅速かつ適切に対応していま					
	すか					
	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事				・LINE やホームページを活用し、	
33	予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者	10	3	2	情報を発信している。	
	に対して発信していますか					
	個人情報の取扱いに十分注意しています				・職員間で個人情報の取り扱いにつ	
34)	か	14		1	いて確認し、十分に配慮して活動で	
					きるようにしている。	
	障がいのある子どもや保護者との意思の				なるべく伝わりやすい言葉を使用	
(35)	疎通や情報伝達のための配慮をしていま	15			するなど、わかりやすい情報の発信	
)	すか	. 0			を心がけている。	
	事業所の行事に地域住民を招待する等地					・地域住民向けの行事は行っていな
(36)	域に開かれた事業運営を図っていますか	5	7	3		いが、見学の受け入れなど開かれた
00		J	'			事業運営を心がける。
						サ大体のできている。

37)	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、 感染症対応マニュアル等を策定し、職員や 保護者に周知するとともに、発生を想定し た訓練を実施していますか	11		4	・対応マニュアルを策定し、職員間 で周知している。保護者には契約時 に説明をしている。	
38)	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っていますか	12		3	・定期的に避難訓練を実施し、災害 の発生時に適切に対応できるよう にしている。	
39	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等 のこどもの状況を確認していますか	13	2		個別対応が必要な場合は、ケースのマニュアルを作成している	・確認した情報を、職員間で周知徹 底できるように、より丁寧な確認を 行っていく。
40	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされていますか	10		5	・アレルギーの有無は事前に確認し 対応している・指示書は求めないが、家族に有無 を確認し、配慮している	・今後は、ご家族の協力を得て、医師の指示書を提出していただく。
41)	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内 で共有していますか	14		1	・委員会を設置し、打ち合わせ等で 内容を共有している	
42)	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしていますか	15			・委員会を設置し、定期的に職員の 研修を行っている。	
43)	どのような場合にやむを得ず身体拘束を 行うかについて、組織的に決定し、子ども や保護者に事前に十分に説明し了解を得 た上で、支援計画に記載していますか	12	1	2	・委員会を設置し身体拘束の必要性 の有無を検討し、都度保護者に説 明・同意を得ている	

特定非営利活動法人 北海道こども発達研究センター